

厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）
（総括・分担）研究報告書

聴覚障害児に対する人工内耳植込術施行前後の効果的な療育手法の開発等に資する研究

研究分担者 吉田 晴郎 長崎大学 医歯薬学総合研究科 准教授

研究要旨

聴覚活用療育法、サイトメガロウイルス感染症への療育法について調査し、これらに関するガイドライン作成への指針をまとめた。

A．研究目的

聴覚活用療育法、サイトメガロウイルス感染症に対する療育法の有効性、実施する際の注意点などについてガイドラインを作成する。

B．研究方法

上記に関する多数の文献を調査し、それらを要約した上でエビデンスレベルを評価する。実際には、会議などを通して複数人で議論しつつ分担して行う。

（倫理面への配慮）
文献調査が主で倫理的問題は発生し難い

C．研究結果

聴覚活用療育法は人工内耳術後の療育として有効性が示されたが、強いエビデンスレベルに支えられている訳ではないことがわかった。サイトメガロウイルス感染症に対する人工内耳は有効であると示されたが重複障害があると効果が劣る。

D．考察

聴覚活用療育法は、難聴者への療育法として有効性がしめされた。ただ、評価法や対象が多様であるため、今後は強いエビデンスが得られる研究が必要である。サイトメガロウイルス感染症に対する療育では、重複障害を伴う症例では難聴の評価だけでも困難な症例もあり、患者の様子をみながら効果判定をすることが重要。

E．結論

聴覚活用療育法は小児難聴に対する療育法として勧められるものであり、サイトメガロウイルス感染症に対しては個々の症例に応じた療育を慎重に行うことが必要。

F．健康危険情報

G．研究発表

1. 論文発表

吉田晴郎：耳管の機能検査インピーダンス・オージオメトリ．JOHNS35(4)：426-428, 2019.

吉田晴郎：【耳管診療の手引き 基本から最新治療まで】耳管狭窄症の病態と診断．耳喉頭頸91(8)：636-640, 2019.

2. 学会発表

12th Asia Pacific Symposium on Cochlear Implants and Related Sciences (2019. 11/27-30、東京) 教育セミナー7 2nd Implantの適応と成績

H．知的財産権の出願・登録状況
（予定を含む。）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし